



「スマートグリッド展」、「次世代自動車産業展」での 『震災復興支援ゾーン』の新設について

企画ゾーンの趣旨

東日本大震災の発生で多くの国民は、災害時・緊急時におけるライフラインや情報の確保、防災意識の重要性を新たにしています。企業にとってはそれらに加えて、事業を継続するために取り組むべき対策を求めています。

このような中で開催する本展示会では、「エネルギー」と「ものづくり」に関連する防災対策技術と、震災からの復興に貢献する技術を展示する企画ゾーンを新設します。

エネルギー問題をテーマとした「スマートグリッド展」と、モノづくりをテーマにした「次世代自動車産業展」で、災害時・緊急時におけるエネルギー源の維持・確保、ものづくりにおけるサプライチェーンの維持など、企業が取り組むべき防災対策に役立つゾーンといたします。

また、「被災者支援のためにすぐに利用できるもの」や、「これからの復興に貢献できるもの」という観点からの製品や技術を募集・展示いたします。

なお、企画ゾーン出展料による収益の一部を寄付金とすることや、出展物そのものを被災地へ提供することなどで、被災者支援、復興支援の一助となることを趣旨といたします。

ゾーンの特徴

- ① 災害時に、企業が事業を継続するために必要な“備え”に関する情報や関連機器を紹介します。
- ② 出展対象は、2つの展示会のテーマである「エネルギー」と「ものづくり」における防災対策機器をはじめあらゆる分野です。
- ③ 来場対象は、企業や自治体の防災対策担当者、またすべての国民です。

ゾーン出展費用 1小間 = 3 × 3 ㎡で、336,000円(両展示会と同額です)。

- 寄付行為**
- ① 企画ゾーンでの収益の一部を産業復興のため寄付金として寄付受付機関へ送金します。
 - ② 上記の寄付金とは別に、出展物そのものを被災地へ提供する場合もございます(出展者と被災地の意向による)。

出展対象

- 緊急時・災害時エネルギー供給システム
スマートグリッド技術の応用システム、燃料供給システム、次世代電源システム、災害時給配電システム、発電機、無停電電源装置、太陽光発電機、燃料電池、分散型発電機器、投光機 等
- 災害時の通信手段対策
衛星通信システム 等
- 地震対策
緊急地震速報システム、耐震技術 等
- 火災対策
火災報知機、消火器、消火システム 等
- 津波・水害対策
止水板、ポンプ、防水シャッター、観測・予測システム 等
- 土砂災害対策
土砂・落石探知システム、土のう 等
- 突風・竜巻対策
気象監視技術、解析システム 等
- B C P（事業継続計画）
自然災害より、組織運営を妨げる脅威が顕在化した場合のリスクマネジメントとして、BCPの重要性は急速に高まっています。BCP策定のアドバイスをするコンサルティングサービスをはじめ、各種関連製品を展示します
- 避難所支援
災害に見舞われた際、生きていくために必要不可欠なものから、避難所でのプライバシーを守るのに役立つ、ありとあらゆる製品。浄水器・造水機をはじめ、非常食、仮設テントや仮設パーテーション、災害用トイレ等、企業や一般人でも必要不可欠なもの
- 医療・介護支援ゾーン
救急搬送システム 等
- 総合防災システム
ライフライン復旧・確保、ハザードマップ、防災コンサルタント 等

以上